

3月下旬、妻と孫娘が土産を揃んできてくれました。早春の香りに、ささやかな晩酌も格別でした。

2年前、天理市からJICA(青年海外協力隊)ボランティアに応募し、今年1月に帰国された高橋亜依さん(30歳)と宮本真季さん(30歳)の訪問を受けました。高橋さんはエジプトのカイロ市で手作り紙工房で技術指導を、また宮本さんはルワンダのキガリ市で刺繍、染色などの分野で地域特産品の開発に貢献されました。お二人の「やはり日本の空気、水は美味しい」のことばが印象に残っています。



▲勤務先での経験を語るお二人
(左:宮本さん、中央:高橋さん)

◎新年度当初予算額は235億8千万円に

3月5日から始まった3月定例市議会で、平成25年度予算案や条例の制定・改正などの審議が終わり、すべての案件が可決されました。

平成25年度一般会計予算は235億8千万円、対前年度比8億6千1百万円の増(+3.8%)。特別会計、企業会計を合わせると460億1千万円で前年度比8億1千6百万円の増(+1.8%)となりました。

予算編成作業で特徴的なこととして、歳入面では市税が前年度より1.1億円の減、寄附金も2.8億円の減、一方、建設事業の増加等に伴う国庫補助金などの影響もあって歳入総額では8億6千1百万円の増、ただし自主財源比率は44.9%(△1.9%)です。

また、歳出面では民生費が目的別でトップの91億7千8百万円(+3.2%)、2位の土木費は街路事業、河川改修などの増で34億1千万円(+11.8%)、3位は教育費で小学校、公民館整備などがあり27億8千2百万円(+4.2%)となりました。

個々の事業では、山辺広域行政事務組合天理消防署の新築は、これまで積み立ててきた山辺広域振興基金が役立ちました。

次にクリーンセンターの焼却炉の長寿命化を図るため、その計画に着手することとしています。

そして、これも長年の懸案となっていた前栽小学校校舎の改築整備に着手することとなりました。

さらに、現在、市議会特別委員会で協議が重ねられている天理市立病院改革は「(仮称)天理市立メディカルセンターの設置等に関する条例」(案)について、市民のみなさんの意見もいただいているところです。

全国的にも公立病院の赤字経営が顕著になってきている中で、総務省が定めた「公立病院改革ガイドライン」をもとに、平成20年度に「天理市立病院改革プラン」を策定し、平成21~23年度にわたり経営の健全化に取り組みましたが、その結果、経営形態の見直しもやむを得ないのでは、と思っています。

◎「ナビ天理」発、にぎわいマーケット

昨年、秋のオープンから今年1月までの間に「ナビ天理」で展示された事業者が、天理駅前広場で商品の販売を行い、スタンプラリーもありました。

マスコットキャラクターてくちゃん、りんちゃんや、天理教同友社のキャラクター「カレーファイブ」の参加もあり、会場は盛り上がっていました。

天理安全

ニユース



【天理警察署】

振り込め詐欺などの発生状況と防犯対策について

県下では、本年2月に、5條市内でオレオレ詐欺により約1、200万円の被害、高取町内で架空請求詐欺により約48万円の被害、奈良市内で還付金等詐欺により約200万円の被害がそれぞれ発生しました。

これ以外にも、2月中にオレオレ詐欺の予兆電話が30件、還付金など詐欺の予兆電話が11件も発生しています。

予兆電話とは、オレオレ詐欺などの電話があったものの、詐欺と気づいて騙されなかったか、現金を振り込む前に何かの理由により詐欺と気づいて被害に遭わなかった場合の電話のことを言います。

「私は大丈夫だから関係ない」という考えは禁物です。ご家族やご近所の人など声をかけ合って、市民の生活を脅かす振り込め詐欺など特殊詐欺を撲滅しましょう。

ひったくり事件が発生!

本年3月12日午後9時頃、天理市三島町の路上で、歩行中の女性が現金の入ったかばんをひったくられる事件が発生しました。

本年2月末現在、県下では24件のひったくり事件が発生しています。被害にあった全員が女性で、その半数が、高齢者です。自転車の被害は、全員が前カゴのカバーがなく、徒歩での被害者は、全員が車道側にかばんを所持していました。

ひったくりの被害に遭わないために

- 歩く際は、カバンを車道と反対側に持ちましょう!
- 特に後ろから近づく単車(犯人)に注意を!
- 自転車や単車の前カゴにはなるべく目立つ色の「防犯ネット・カバー」を装着しましょう!

☆天理警察署(☎62-0110)へ